

大治ヒストリー

その1

《日本初の眼科治療院、明眼院》みょうげんいん

大治町の歴史文化を紹介するコラム・大治ヒストリー。初回は、大治小学校の南隣にある「明眼院」を紹介します。

明眼院は、平安時代初めの延暦21(802)年に、「安養寺」という名前で創建したと伝わります。

その後、南北朝時代の僧・清眼が、薬師如来やくしにょらいから眼科の医書を授かるとされ、日本で初めての眼科治療院を開きました。

治療の評判は広く伝わり、患者や参拝の人々で、境内は大変にぎわいました。江戸時代には、住職が皇族の治療を依頼

され、京の都に招かれることもあったほどです。その

治療の功績として、「明眼院」の名を賜りました。

明治時代に寺院での治療行為が禁止されたため、

明眼院での眼病治療は終了しましたが、今でも、目を

わずらう人々からのあつい信仰を集めています。

問 公民館内 社会教育課
☎(443)2671



目に悩む多くの人々を見守ってきた仁王像におうぞう
(町指定文化財)

7月の公民館ロビー展示

ロビー展示

〈水墨画展〉 7月16日(木)～31日(金)

●水墨画同好会

ガラスケース展示

〈陶芸展〉 7月1日(水)～31日(金)

●陶芸クラブ

※日程は都合により変更する場合がありますのでご了承ください。



暴走を

「しない」「させない」
「見に行かない」

暴走族
なくして住みよいまちづくり

大治町青少年健全育成推進
協議会

7月は「青少年の被害・非行防止全国強調月間」

非行の芽はやめにつもう みな我が子

未来をつくる青少年が、社会における自らの役割や責任を自覚し、豊かな社会性と優れた創造性を培い、心豊かにたくましく成長していくことは、町民全ての願いです。

皆さんも、温かい目で地域の子どもは地域が育てるという観点に立って「声掛け」をしましょう。

～大治町青少年健全育成推進協議会～